

久保・長江中学校区の学校再編に係る
育友会・P T A役員と教育委員会との第6回意見交換会議事録

- 1 日 時 令和5年7月14日（金） 19：00～20：10
- 2 場 所 尾道市役所 1階 多目的スペース1
- 3 出席者 久保小学校 育友会役員 4名、長江小学校 育友会役員 4名
土堂小学校 育友会役員 3名、山波小学校 育友会役員 0名
久保中学校 P T A役員 2名、長江中学校 P T A役員 1名
教育委員会事務局 11名

宮本教育長、川齋教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長、
三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、安保学校経営企画課課長補佐、
石川庶務課管理係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長、玉里庶務課管理係主任
才谷教育指導課指導主事

4 進 行

担 当	内 容
教育委員会事務局（司会）	<p>19：00～</p> <p>1 開会</p> <p>今日は山波小学校さんは、Z o o mで参加ということですので、他の学校さんは揃いましたので、会を始めさせていただきます。4小2中育友会・P T A役員の皆様におかれましては、本日、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、久保・長江中学校区の学校再編に係る育友会・P T A役員と教育委員会との第6回意見交換会を開催いたします。本日の終了時刻は、報告と協議の時間を合わせて20時を考えております。よろしく申し上げます。また、第5回に引き続き、Z o o mによる配信を行っておりますことをご了承ください。まず、はじめに、宮本佳宏教育長がご挨拶申し上げます。</p>
宮本教育長	<p>2 挨拶</p> <p>○教育長挨拶</p> <p>皆様こんばんは。続いてお世話になります。昼間のお仕事等で大変お疲れのところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。当初21日の金曜日に、この会を行うというふうに予定しておったんですが、こちらの都合で1週間早めまして、本日の開催となりました。大変ご迷惑をおかけしましたけれども、ご理解いただきまして、お集まりいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。本日は、今後、7月24日から8月2日まで順次4つの小学校、そして2つの中学校の保護者の皆様に説明会を実施することとしておりますので、その日程や内容について、まずご説明をさせていただきたいと思います。また、そ</p>

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>れに伴って、保護者の皆様お一人お一人のお考えや思いを聞くためのアンケートを教育委員会として実施したいと考えておりますので、そのことについて説明をさせていただきたいと思っております。何かご不明な点等がございましたら、どうぞ遠慮なくおっしゃっていただけたらというふうに思います。では、どうぞ本日はよろしくお願いたします</p> <p>3 協議</p> <p>続いて、3の協議に移ります。（1）第3回保護者説明会の日程及び内容について説明いたします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>それでは、失礼いたします。お手元のレジメをご覧ください。第3回の保護者説明会を実施することについては、6月19日の第5回意見交換会でご了解をいただいております。この度、日程が確定をいたしましたのでお伝えをします。7月24日の月曜日から8月2日の水曜日まで、学校別に計6回、レジメに記載の日程で行います。既に学校を通して保護者の皆様には、案内が届いているのではないかと思います。保護者説明会の内容につきましては、めくっていただきまして、資料1の当日使用しますスライドを印刷したものをご覧ください。これは現在の案ですので、いくらかの変更が入りますことはご了承ください。スライドに1点目の下の方ですね。スライドにありますように1つ目が学校再編について、2つ目が小中一貫教育校の教育内容について、3つ目、新しい学校の施設について、4つ目、今後について、というふうにしていきます。これまで保護者の方々を対象としては、11月29日から12月1日にかけての教育委員会の学校再編案をお示ししたオンライン説明会のほか、しまなみ交流館にて、2月5日と6月2日に対面での説明会を開催しましたが、この度、学校別に初めて実施するという事で、初めてご参加いただける保護者の方も多いのではないかと思ひ、4の今後について以外は全てこれまでの説明会で説明してきました内容をダイジェストとし、30分程度になります。改めてご説明する内容となっています。それからスライド26一番最後のページの表側になりますけども、スライドの26にですね。ここに、先ほど教育長も少し触れましたけど、アンケートのお願いについて記載をしています。アンケートにつきましては、この後で説明をさせていただきます。事務局からの説明が終わりましたら、学校ごとの様々な思いや意見があるのかと思ひますのでしっかりと聞きをし、またご質問に対してはお答えをしていただきたいと思いますと考えております。ちょっと簡単ですが以上で終わります。</p>

教育委員会事務局（司会）	<p>（１）の保護者説明会の日程及び内容について、ご意見、要望があればお伺いいたします。ございますでしょうか。</p> <p>（意見、要望なし）</p> <p>（２）保護者アンケートの実施について、協議をしたいと思います。では、説明をお願いいたします。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>それでは続きまして、また1枚めくっていただきまして、資料2と右上にある紙があるかと思えます。こちらがアンケートの実施要綱になりますので、まずはそちらをご覧ください。上から説明していきませんが、アンケートの目的ですが、学校再編案を進めるにあたり、今後教育委員会としての判断をしていく際の参考とするために、実施をいたします。実施対象は、久保・長江中学校区の小学校、中学校6校の保護者とし、1家庭に1枚のアンケートを配付します。合計865家庭になります。アンケートの内容になりますけども、1枚めくっていただきまして、資料3これがアンケートの実施についての説明文、それからもう1枚めくっていただきまして、アンケートの案がございます。アンケートは責任を持って回答を行っていただくという観点から、記名式としておりますけども、保護者や児童生徒の氏名と回答を結びつけての集計は行いませんので、公表にあたりまして、個人名が出る場合がございます。設問ですが、まず問1、教育委員会が提案している学校再編案に、1賛成する、2反対する、3教育委員会に一任する、4どちらとも言えないの4択とし、4のどちらとも言えないを選択された方は、記述案を設けています。また、アンケートの提出がされなかった場合は、学校再編案に対して、教育委員会に一任しているものと判断させていただきたいと考えており、その旨、用紙の一番下に明記をしております。また今は付けておりませんが、アンケートの集計を正確に行うためにアンケート用紙と返信用の封筒には同一の数字で、ナンバリングをしておきたいと考えています。</p> <p>実施方法ですが、来週20日、木曜日までに学校を通して各家庭に配付をし、回答は同封の返信用封筒を使用して、教育委員会に送付をしていただきます。</p> <p>実施期間ですが、先程説明しましたとおり、今後学校ごとに保護者説明会を行いますので、ポストへの投函の期限をそれぞれの説明会の2日後とさせていただきます。また、教育委員会が届いた回答は、6つの小中学校全体、それから小中学校別、各学校別などで集計を行っていきます。結果につきましては、集計後できるだけ早い段階で会長さんを通じて、情報提供をしていきたいというふうに考えております。</p>

教育委員会事務局	<p>ただいまの協議事項(2)のアンケートの実施について、質問、確認、要望等がございましたら、お伺いいたします。</p>
長江小学校育友 会役員	<p>すみません。確認になります。今このアンケートに関してですね、最終的なところは統廃合の案に対してだけでいいということでもいいんですかね。というのは、いろんな教育内容というのをおっしゃっていましたが、それも含めて、まあ、それをうたっているのではないですけども、白紙委任で出せという意味ではなくて、あくまでも9月に提出される議案に対して、対象校の保護者というのは、こういう意見をもっていますよという分でもいいんですよね。全部任せてくださいの話であれば、きっとこれでは問題がたくさんありますので、確認だけです。お願いします。</p>
小柳学校教育部長	<p>アンケートにつきましては、この学校再編案ですから、今回の6つの小中学校を再編していく、それから、それは施設面の説明や教育内容の説明もさせていただきますけども、そういう全体を通して、私たちの再編案に賛成していただける方は賛成で、統合に反対の方は反対していただくで、例えば、ある一定の条件があれば、こういうことがクリアできれば、賛成できるとか、そういった方は、多分まあどちらとも言えないというところを書いていただくようになると思いますが、その場合には理由を書いていただくと、こういう理由だからどちらとも言えないというふうなことで、私たちは、保護者が、皆様方の一人一人の意見をお伺いできればということで、アンケートをさせていただくということにしております。</p>
長江小学校育友 会役員	<p>もう一回だけ、もう一度確認しますけれども、あくまでも建物に対する案だけですね。今の言い方でいくと、これも含めてという話になっているんですけど、あくまでも建物に対する賛成反対だけのアンケートだと思ってよろしいですか。</p> <p>ごめんなさい。というのが、9月の議会に提出されるという教育委員会からの話がありますが、9月の議会に何を提出するのかを、まずちょっと確認させてください。その9月の議会において、教育内容も含めて議会に説明して、学校をつくれます。もしくは、とりあえず学校をつくるための予算を取ります。どちらの議会に対して、まずどんな議案を提出されるか、それが分かれば、教育内容が入っているか、入っていないか判断つきますので、その辺も説明していただければと思います。</p>

小柳学校教育部長	<p>今、9月議会に向けてという話がありましたけれども、私たちが提出したいというのは、新しい校舎の設計予算ということになるということをご想定しておりますけれども、今議員の皆様方にも3回説明会をし、来週4回目の説明会をする予定でありますけれども、その中では、建物だけではなくて、当然教育内容の中身でありますとか、子供たちの通学対策でありますとか、様々なことを織り交ぜた中で、判断をしていただくということですから、保護者の皆様にもその建物を建てるだけではなくて、教育内容等も含めて、この在り方がいいのかどうか、賛成するのかどうか判断していただきたいと思っております</p>
長江小学校育友会役員	<p>ありがとうございます。何度も言うようで申し訳ないですが、私は統廃合に関しては、全く反対の意思は持っていません。でも、前回の教育長の説明の中の叡智学園ということが出ました。具体的なもので、それを含めて考えるなら反対なんです。その場合は、どちらとも言えない。そのように書いた時に、どういう判断になるんですか。建物は賛成、中身は反対、これはどちらに一票になるのかなという確認です。</p>
宮本教育長	<p>叡智学園については、どうも誤解をされている方が多いんじゃないかなというふうに思います。叡智学園の話はですね、何も特別な学校を創ろうとして出したわけじゃありません。叡智学園は、学びの変革を先導している学校なんですね。学びの変革と言うのは、これまでの日本の教育は、どちらかという、教師主導で、子供たちは受け身で、一斉授業というのが中心で行われてきました。しかし、それではですね、変化の激しい社会に未知なる状況に対応していく力をつけるには不十分だということで、学習指導要領も変わりまして、国全体が、主体的で対話的で深い学び、つまり教師主導ではなくて、子供たちの疑問や学びたいことを中心に、子供たちの意見をしっかり出し合って、学習を深めていくという、そういう授業に転換していこうということで、今教育活動が進んでいるんですが、コロナがありまして、ちょっとそういうこともできなくなったわけですね。この前はそういう方向で変革を進めていたんですが、また友達と話すこともできないわけですので、机を離して黒板の方を見て一斉授業するという形にまた戻ってしまいました。ですので、もう一度仕切り直して、そうした子供の主体性を尊重した授業していこうということをご今始めているわけなんですけれども、この叡智学園と言うのは、それを子供主体の学習を今すでに進めている学校なんですね。ですので、今県教育委員会が、叡智学園の見学会というのを去</p>

年から始めてます。年間20回、去年は約300名ぐらいの各市町の先生方、それから市町の教育委員会の職員が見学会に参加しております。今年もその見学会が行われています。なぜその見学会は行われてるかっていうと、尾道だけじゃなくて、各市町の県内の先生方に、実際に子供の様子とか、授業の様子を見ていただいて、やっぱり聞いただけで、なかなかイメージが湧きませんので、実際に見ていただいて、それを各市町の公立学校に持ち帰って、そういうイメージでやるんだなということをもとにですね。子供の主体性を生かした授業に転換していこうということで、その見学会が開かれてるということです。それを私は前から知っていましたので、そういう意味で叡智学園を見に行つて、尾道の公立学校も一斉授業に今なりがちな状況がありますから、子供の主体的な授業に変えていくために見に行きました。そして、それをただ叡智学園は誤解をされるのも、私は分からないでもないんです。なぜなら、入試で入っているから。海外から留学生だっている。全寮制でやっている。そういう特殊な公立学校、県立学校でありながら、ちょっと特殊な状況の中で教育が行われているので、皆さんが誤解されるんじゃないかなと思うんですけども、そうじゃなくて、これから日本全体がこういう授業、こういう教育を行っていこうとする、そういうモデルになっている学校ですので、それを見に行つたんです。ですから、叡智学園だからといって反対っていうのはこれは誤解をされてるんじゃないかなと思います。全ての県内、日本国中、全てがそういう子供中心、子供主体の授業に変えていこうとしてるわけですので、何も特別なことをしようというふうに考えるわけじゃありません。

長江小学校育友
会役員

ありがとうございます。ちょっと前回とトーンが違うなど、本気で思います。というのが、教育長、前回の話の時に、目指すべき、最初に冒頭に挨拶された時にですね、叡智学園をあれだけ熱く語られて、今のトーンで行くと、これから目指す教育っていうのは分かります。でも、私が、今さっき言うように、そのような学校であれば、今教育長が言われたように、地域にその地域だから入った子供たちにそれができないんです。もう求めているものが違ふと。実際にそれを教える先生の数も決められて、令和7年、1年半後にスタートを切ります。現実なところ、できるわけがないと思うんですよ。結局、先生に負担がかかって、先生がつらい状態になると、子供たちが、子供たちから笑顔をまず取り上げると思います。やらなくちゃいけないことばかり追い込まれますから。ですので、叡智学園そのものがということではなくて、スタート時期を含めて、今、令和7年假設から始めますというスタートを、少し伸ばし

ていただいて、校舎が完成する令和10年の4月1日から新学校を開設することで、そしてまた教育をできる環境をつくりますと言っていたら、ぜひ目指してほしいんですけども、この1年半という期間の中で、それを全てやり始めるよって言われると、負担でしよって思うんです。さっきそれを負担だと思わないと言われたので、間違いなく全ての人に対して負担だと思っているので、大変ですということをお伝えしたんです。アンケートと直接の関わりはないかもしれないんですけど、スタート時期を一度考えていただけないかなというのも意見として言わせていただきたいと思います。せめて新校舎が全て建設された後に、皆さんそこからスタートしましょう。で、こういう教育を目指します。そのために、こういう準備をしました。で、スタートならいいんですけども、たぶん令和7年から全て中途半端にスタートして、手探りでやりました。その手探りな間に通う子供たちが一番かわいそうなんです。ですから、賛成を、反対をということじゃなくて、原則というか、基本私は賛成です。でも、開始時期も含めて、もう一度考えていただきたい。で、今回の議会に提出するのは、予算だけですか、合併に対する合併するためにかかる予算を審議に通すだけに留まっていたら、まだそれから先が、話し合いをする余地があるんじゃないかなと思ったんで、こんな質問というか、意見として述べさせていただきましたので、開始時期も含めて、もう一度考えていただけないかなと思います。意見ですけど。もう結構です。

土堂小学校育友
会役員

すみません。土堂小学校です。事務的なことをちょっと聞きたいんですけど、質問の中で賛成する反対するはとても分かりやすいんですが教育委員会に一任するっていうのは、賛成とはまた違う意味合いだとは思いますが、これはどういう意味でこの3つ目のものができたのかなと。その人達って、賛成してないのかなとったりしていますので、ちょっとこの一任するの意図をお聞きしたいなと思います。

小柳学校教育部
長

はい。教育委員会に一任するということですけども、賛成とも反対とも判断しかねたりする場合に、もう教育委員会にお任せしようという方もいらっしゃるかもしれないということで、こういった選択肢をさせていただきました。たぶん明確に賛成とか反対とか言い切れない場合もあると思いますので、教育委員会に一任するとどちらとも言えないという4つの選択肢ということで、今回は作ったということであります。

土堂小学校育友 会役員	<p>分かりました。そちらについては分かりました。ありがとうございます。今作っていただいているものだけで配布されるとですね、私は今あの説明を受けたので分かりますけど、概ね賛成だけでも心配点がある場合ってというのは、どちらとも言えないに丸して下に記入してくださいって言ってもらえたから分かるんですけど、今長江小学校さんからもあったようになるんですけども、概ね方向性としては賛成なんだけれども、時期について、ちょっとどうなのかなと思いますというのは、どちらとも言えないになるのか、それだったら反対するっぽい気もするし、ちょっとイメージする記載例みたいなものもないと、全部賛成するになりそうな気もするなと思います。どちらとも言えないという扱いが、これでじゃあ分からないなっていう気がします。はい、以上です。これはまあ意見としてお伝えします。</p>
土堂小学校育友 会役員	<p>この集計方法についてなんですけど、集計方法は、各学校別とか小中学校別の集計を行うってなってるんですけど、判断基準っていうのを判断していく際の参考とするためってなってるんですけど、その学校ごとに環境が違うんで、結果が変わってくると思うんですけど、それをどういうふうに判断されるのか、例えば全体約900家庭数に対する賛成がこれだけなんで進めますなのか、じゃあこちらの学校はこうなので、じゃあさあどうしましょうかってそこでまた協議の場を持っていただけるのか、その判断基準を教えてください。</p>
小柳学校教育部 長	<p>判断基準ということなんですけども、このアンケートというのは、判断の一つの材料とさせていただくということですから、このアンケートの結果が全てということではないと考えています。これから各地域と言いますか、各小中学校を回らせていただきますけども、まあその中でいただく意見でありますとか、全体の様子、それからこれまでの皆様方からいただいた意見、反応等を総合的に判断させていただいて、教育委員会として判断していくということになるろうかと思います。ただ、私たちも、何かやはり判断する時に、根拠になるものが必要ではないかということで、雰囲気だけで判断ということにはいけませんから、この度皆様方にアンケートを取らせていただくことを今回申し上げさせていただいています。最終的に6校全体なのか、小中学校別なのか、各学校の状況を見てなのかということについては、現段階では一つの学校の反対が多かったからやめますとか、多くてもやりますとか、そういったことは今の段階では、まだちょっと言えないんじゃないかというふうに思っています。あくまでも、教育委員会として判断していく一つの材料と</p>

<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>して、皆様方一人一人の意見をいただきたいというふうに思っています。</p> <p>この家庭数で配られるということなんですけども、うちもそうなんですけども、中学校と小学校と通ってるんです。微妙に2票ある家庭があるんですが、その辺はどういうふうにお考えでしょうか。ぼく、上の子が長江中学校で、下の子が長江小学校に行ってるんで、兄弟で家庭で1票しかない家庭なのに、実は2票あるよみたいなことになるんですが、その辺はどういう。</p>
<p>小柳学校教育部 長</p>	<p>小学校と中学校の家庭数で見させていただいてます。ですから、小学校については、小学校の立場で判断させていただいて、中学校については、中学校の立場で判断させていただくというようなことで、まあそういうことを想定して、小中学校のそういった家庭数でさせていただこうということに考えております。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>中学校の件はOKですけども、小学校の件は反対だということもあるということですよね。</p>
<p>小柳学校教育部 長</p>	<p>ですけども、基本的には小中学校全体の再編を判断していただきたいということなんですけれども、小中学校のその家庭のところまでなかなか追えないという事情もありますし、それぞれ小学校と、小学校はまあ小中一貫教育校の枠組みでお示ししていますけれども、小学校の統合は、耐震化のこととかもあっていろんなこともあってやむを得ないだろうけど、中学校は校区にそれぞれあった方がいいんじゃないかとか、様々な考え方もあると思いますですから、基本的にはやっぱり小中学校1つ、一体として考えていただいて、小学校、中学校、兄弟がある家庭もあると思いますけれども、そういった判断をしていただいて、アンケートを記入していただきたいというふうに思います。</p>
<p>土堂小学校育友 会役員</p>	<p>すいません。続けて失礼します。このアンケートを取られて、その例えば、900家庭中これだけが賛成でした、反対でしたっていうのを議会の方に出されて、それで議会で、このアンケートがどのくらいのウェイトを占めて、議員さんが判断されるか分からないんですけど、その議会で議員さんが、過半数以上がOKですって言われたら、もうそれって、今教育委員会さんが計画立てている通りに全てが進んで行っちゃうんですか。その議会の後の流れていうのがどうなるのかなと思って、</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>ちょっと不安なのですが、教えていただけたらと思います。</p> <p>まずこのアンケートの結果というのは、まずは皆様方に、会長さんを通して、できるだけ速やかにお返ししたいと思っておりますし、教育委員会の中でどういった判断する一つの材料、それから議員にもですね、説明会等の中で資料提供させていただいて、今の保護者の方の思いとかですね、賛成なのか、反対なのか、そういった意思表示というのは見ていただくということになろうかと思えます。それを見て議員さんが、議員各自がですね、それぞれどのように判断されるのかというのは私たちにはちょっと分からないところですけども、まあ議会の中で判断していただくということになろうかと思えます。その後、議会の後については、開校準備委員会の話もこれまでさせていただきましたけれども、私たちもそういった準備もさせていただこうとは思っていますけれども、まずは9月議会に私たちの再編案についてご理解していただいて、判断していただく。まずはそこに全力投球していくということになろうかと思えます。</p>
<p>土堂小学校育友会役員</p>	<p>ありがとうございます。さっき長江の〇〇さんがおっしゃっていた意見と私も同じで、ちょっとスケジュール的に、その議会の後1年半で、じゃあ校舎移りますとか、新しい教育をスタートされますっていうのは、ちょっとしんどいなと思って、保護者もしんどいし、子供たちもしんどいと思うんですけど、でも教育委員会さんが示されてる案は1年半後じゃないですか。そこも、もう議会で通ってしまったら変えられないことなんですか。その辺を教えていただきたいです</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>私たちも議会の方に対しては、令和7年4月統合、開校。それから、令和9年4月から新しい校舎運用ということで、これまで説明をさせていただいておりますので、できるだけ議員さんが、その判断材料として私たちがそういう資料を提供してますし、これまでアナウンスしておりますので、そういったことを基づいて判断されるというふうに思います。ですから、そういった判断、私たちが提案する案で判断していただく以上、今の段階では、やはり令和7年4月統合、それから令和9年新校舎運用開始ということを目指して、皆様方と力を合わせて、また教職員にも理解をいただき、教育内容等も整備をさせていただきながら、また地域の方にとっては、閉校等の行事がありますけれども、地域の方々にもご理解していただきながら、現行の案でできる限りは進めていきたいというふうに今は考えております。</p>

土堂小学校育友 会役員	進めていきたいとおっしゃっていることは、その変更も可能って いうことなんですか。
小柳学校教育部 長	変更は今のところ考えていないんですけれども、これは今教育委員 会の思いで進めていますけれども、実質的には皆の協力がないと、何も 進まないということがありますから、皆様方にご理解をいただいて、令 和7年開校というのは、やっぱり目指していきたいというふうに思っ ております。
土堂小学校育友 会役員	分かりました。ありがとうございます。
長江小学校育友 会役員	ちょっと真面目なところで、今小柳部長が言われたように、お諮り を、今議会に対して教育委員会としての意思を伝えると。否決されたら どうなるんですか。というのが、行政が上程して、同じ案が来年出るわ けないですね。長江中学校、長江小学校敷地、久保中学校の敷地の所 へ、まあ統合の学校ですよ。この案って、今年通らなかつたらもう二 度とないんですよ。ですから、今どんな勝算があつて9月に出そうと されてます。ちょっと今、まだお諮りをかけます、勝算があるからお諮 りをかけているという感じじゃなかったんですけど、これ否決された ら、小学校全部なくなりますよね。もう行く場所ないですもん。中学校 の配置を久保中学校に行けたとしても。あと、元々の案にあったよう に、中学校の敷地に小学校も行くことになると思うんですけど、その心 配を含めて考えた時に、どれだけの勝算があつても9月にこだわられ ているのか、お答えいただける範囲で結構なんのでお願いします。
川鰭教育総務部 長	先ほど小柳部長が申し上げたとおり、令和7年に統合、令和9年に新 校舎が完成して、そこから新しい学びが始まるということを、いわゆる 宣言した上で、この議案というものが通っていく。逆に言うと、これが 責務になります。我々は、議会はそれをよしとして議決をした、承認を した。ですから、我々は、これに責務としてやらなければならないとい うことになります。ただ、そのような状況の中で、もしも逆に否決され たらどうなるかという、今のままです。今の仮設のままという状態に なります。だから、そういうことになると、また例えば、新年度予算で、 仮設期間を延ばす契約予算が出るということになっていきますし、逆 に可決されたとしても、可決されてもですね、新たに新年度では、いろ いろな新年度になるか、その6月補正とか、議会の中で、今度は例えば

	<p>校旗を作る費用とかですね、校章を作る、制服はどうするとかいった関連予算は、当然出てきます。ですから、まずは、この9月議会がスタートライン。9月議会で議決されることによって我々教育委員会は7年度統合に向けて責務を負って、それをきちっとやりなさいと、議会から今度はいわゆるそういう箍をはめられるというかね、そういう形で頑張っていけないといけない。ですから、統合の開校準備委員会というのも積極的に行って、7年の開校に向けて頑張らなきゃいけないし、当然それにかかっている先ほど言ったような予算は、順次様々な議会、特に新年度議会になると思います。2月ですよ。こういった議案に提案をしていく。そういう必要は必ず出てくるということになるろうかと思います。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>ありがとうございます。まあ、おっしゃられることは、本当にありがたくお聞きしたんですけども、だからそれをもってして、教育委員会案が今回の案として、勝算はどうなのっていう話なんです。勝算がなければ仮設に残りますよ。分かります。だって行き先がないですから。でも、残った方法は、3校どこかに分散させられるか、ただ単に統廃合ではなくて、廃校になるしか道がなくなるのかなと思ったんで、その辺のところも、はっきりもう明言していただかないと、あんたが今回駄目だったら学校なくなるだけよっていう、その意思が全くないんですよ。保護者のほとんどは、今年駄目でもまた同じ案を来年出してくれるよと思ってる方多いです。でも実際そんなことあり得ないんですよ。でも、それって誰も名言しないんですよ。だから、今年の議会上程がどういう意味を持つかっていうことをしっかりと説明をしていただければなと思います。</p>
<p>土堂小学校育友 会役員</p>	<p>さっき副会長の〇〇さんもおっしゃったんですけど、アンケートの、さっき「どちらとも言えない」に関しておっしゃったんですけど、反対する、賛成するのところで、こういうことに対しては賛成だけど、こういうことに対しては反対、そういう場合って、なんか難しいなと思って、このやっぱり用紙だけではなんか答えづらいというか、もうちょっとなんか分かりやすく書いて欲しいなと思いました。すみません。意見です。</p>
<p>久保小学校育友 会役員</p>	<p>すみません。久保小学校です。アンケートの内容で、私もちょっとこのままアンケートを出していただくのではなくて、変えていただきたいなと思っています。先程から言われてるように、賛成反対、この4つ</p>

の項目だと仮に同じような意見の方でもチェックする場所が変わってきたりすることもあると思います。どちらとも言えないところに自由記載していただいても、それまあ教育委員会で集計する時に、その集計する職員の方が判断しないとイケないと言いますか、恣意が入ってしまったりすると思うので、えっとこれは今私とパッと見た案ですけど、先ほどから出とるように、大きい問題としては4つなのかなと思ってます。中学校、新しい中学校が現久保中の場所にできることで、新しい小学校が現長江中学校にできること。教育内容として国際バカロレア教育を導入することと、学校統合が令和7年に新しい学校がスタートすることの4つなのかなと思ってまして、その4つそれぞれの項目に対して、賛成する反対するというような項目をつけていただいた方が、単純な集計ができたりとか、仮に案を再考される場合でも、どの部分を再考するべきなのかっていう判断していく材料に使えるんじゃないかなというふうに率直に思いました。あと鑑文の方なんですけども、何でこの時期にするのかっていうのが、是非書いていただいた方がいいのかなあ。あのアンケートは当初令和4年の11月に案を出されて、12月で自由記載欄だけ設けたようなアンケートをされたかと思います。で、今回は賛成する、反対するっていう、具体的な、○×をつけるようなアンケートになってるので、まあ投票ではないので、何か縛られるものではないというふうな認識ですので、そういうこととかですね、今まで説明会を何度も地域もですし、保護者説明会もですし、私たち役員に対してもしていただいたので、それをもって今どう思っているかを回答してもらいたいというような内容だったりとかいうようなことを書いてもらいたかったり。あと一番下の取扱いのところ、ちょっと気になったのは、アンケートは結果分析以外の目的には使用しませんっていうのは、なんかピンとこないと言いますか、その下には個人情報と、個人が特定できるような状態で外部に提供することは一切行いませんとなっているんですけど、先ほど口頭で説明していただいたような学校ごとかで集計しますよ、でそれは保護者の皆さんにも返します、公表します、みたいなことが書いてあった方がいいんじゃないかなというふうに思いました。以上です。

土堂小学校育友
会役員

行ったり来たりなんですけど。どちらとも言えないのところに書いた理由というのは、これは今後、改善と言いますか、そういったものに活用はされないんでしょうか。というのは、先程もあったように、アンケートの結果分析以外に目的には使用しませんって書かれてあるんですけど、それは、ですから、おそらくイエスカノーか数の集計だと思う

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>んですけど、だとしたら、どちらとも言えないに心配事を書いたものについては、一覧にはするけど、まあどう言うんですかね、これを基に何か改善を考えるということはされないということでしょうか。</p> <p>アンケートのどちらとも言えないという部分については、これはもう賛成反対の数には入れるつもりはないということをまず申し上げておきます。ですから、この4つのカテゴリーにやった場合には、4つのカテゴリーごとに集計していくということになるかと思えます。この理由を書いていた場合には、当然教育委員会として、こういうことを改善してもらったら賛成の方に回るよというふうに捉えさせていたideきたいと思っています。ですから、例えば、通学路の問題であるとか、教育内容の問題であるとか、開校時期であるとか、様々な意見があるかもしれません。今そういったものについては、やはり改善できる部分については改善させていただく。どう言ったらいいんでしょうか。そういう材料と言いますかね。そういったものにさせていただいて、できるだけ皆様方にこの統合について理解していただけるように、どちらとも言えないという方は、そのアンケートの時にはどちらとも言えないかもしれませんが、そこが少しでも賛成にその後なっただけのように、改善は図っていきたいと思っています。それと、先程国際バカロレアのことを言われておりましたけども、これは本市はそういったものを目指しておりません。ですので、一言言っておきます。普通の公立小中学校は子供たちが元気に通う、笑顔で毎日通える学校をまずは第一に考えておりますので、はい、ちょっと言わせていただきました。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>ちょっと補足をします。今の国際バカロレアを、皆さん、この前私が説明したのでそのことを意識されてるんだなと思って聞かせていただいたんですけど、私はこの元々ですね、教員出身の教育長ですので、これまでのその議事録を3月までの議事録を読んでですね、なかなかやっぱり教育内容とかどんな学校を作ろうとしているのかっていうことが、はっきりとですね、教育委員会としても示されてなかったところが課題だと思ったものですから、私もまあ張り切っているんで、とにかくいい学校を作ろうという意気込みを示したい。そう思うんですね、そのためにどんなことが考えられるのかなということで、いろいろ4月、5月に考えてお話をして、叡智学園もそういう一つの例としてお話をしたんですけども、私の意図と言うか、その意気込みを示したことが、かえってですね、皆さんに不安を与えてしまっているのかなとい</p>

うところで、これはちょっと私の説明が至らなかったんだなというところを今改めて認識をしております。

部長が今言ったように、国際バカロレアをやっていこうとかそういうことは全く考えてなくてですね、これからあの、私が叡智学園の話を出さなかったとしても、その方向に行くんです。教育は。ですので、でもその方向に行くんだったら、よりいいものを早く取り入れる方が尾道のためじゃないですか。子供たちのためじゃないですか。という意味でお話をしたんですけども、なかなかちょっと私の説明が至らないものですから、皆さんにかえて逆のこう特別な学校を作るんじゃないか、先生や子供たちに負担を与えてしまうんじゃないかという思いを抱かせてしまったっていうのは、私の大きな反省です。ですので、これから各小中学校に説明会に行かせていただきますので、またその辺りもしっかりお話をさせていただいて、私の真意はどこにあるのかというところですね、分かっていただけのように、丁寧に説明していきたいなど、そういうふうに思っております。ですから、〇〇さんが、この前とトーンが違うじゃないかとおっしゃったのは、まさしく私も今ちょっと落胆しているわけです。本当にいい学校を創ろうと思って、皆さんに喜んでもらえる学校を創ろうと思ってですね、張り切って言ったんですけど、かえて逆効果になってしまったっていうところで、ちょっと落胆してますので、前回の意気込みとはちょっと今日はトーンが落ちているというところをご理解いただきたいと思います。

長江小学校育友
会役員

すみません。長江小学校です。先程久保小学校さんから、アンケートの件について、変更した方がいいんじゃないかなというふうに言われたと思うんですけど、そちらについては、どういうふうに考えられているのかなと。

小柳学校教育部
長

はい。ご意見としてはお伺いいたしました。ですから、直せる部分、反映できる部分があるかどうか、また短い期間なんですけども、検討はさせていただきますけども、私たちもアンケートの案を考える時に、どういったアンケートがいいのかっていうのは、かなり議論を内部でさせていただいて、質問項目が多いのがいいのか、少ないのがいいのかということも含めて考えたんですけども、まあやっぱり皆様方のアンケートで意見を伺う時には、できるだけシンプルで質問数が少ない方がいいのではないかという結論に至って、問1のところにはほぼ集約するような形になりましたけども、ただそれだけではあれなので、問2のところでは自由意見と言いますか、意見がある場合には書いていただき

<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>たいということで、問1のところでも十分回答いただけなかった思い等については、問2のところを書いていただければということで、このシンプルな形とさせていただきます。</p> <p>はい。ありがとうございます。それともう一点、アンケートを事前に配布して、その後、これ2日後までに投函を依頼、説明会の2日後ということは、説明会の後ということですね。はい。分かりました。じゃあ、アンケートはこのまま行くようなイメージになるんですかね。</p>
<p>小柳学校教育部 長</p>	<p>再度見直しはしなければいけないと思いますけれども、もしかしたらですね、皆様方の手元に届いた時に、中身が変わっていないということも、これは考えられます。一部変わっているかもしれませんが、この場で変わりますよというようなことは言えないんですけれども、今日様々な意見をいただきましたので、もう一度検討はしてみたいというふうに思いますが、結果として同じになっている可能性もありますことをお含みいただければと思います。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>ありがとうございます。私の意見としてはですね、先程他の方も言われたんですけど、学校再編だけなのか、まあ要は賛成をしてしまった時に、もう変えれないっていうふうなものが何になるのかっていうのを具体的に書いてあげた方がいいんじゃないかなと思うんですけど、ご検討ください。お願いします。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>すごく貴重な意見をいただいているなというふうに思います。つまり、その最初〇〇さんがおっしゃったように、建物の場所と建物についてだけ言えば、賛成だとおっしゃったが、その教育内容だったりというところについては、保護者の皆さんも意見がいろいろあるので、そこは今後話し合って、まあ、変えられるところは変えたりとか、より良いものにしたとか、負担の少ないものにしていくとか、そこは議論の余地が十分あるんだと思うんですよ。そうしないといけないんだと思うんです。むしろ。ですので、今の提案のその長江中学校と久保中学校にそれぞれ今創ろうとしている学校については、賛成だけど、中身やこういうことについて、通学路の心配もまだあるし、いろんな心配があるので、そういうことについては、これからちょっとしっかり教育委員会と話し合って、いい形にしていきたいというのが、今言ってくださってる中身だと思うので、それはその通りだというふうに思いますので、ちょっとその辺がどういう形にすれば、そういう皆さんの思いがこのアンケ</p>

	<p>ートに反映できるかっていうのは、ちょっと考えさせていただいて、皆さんのお手元に届けるようにしたいなと思いますけども、それでよろしいでしょうか。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>はい。とりあえず議会が通って、その後でもいろいろな意見を受け入れていただいて、いろんなことを改善だったり、そういうのがあるような状況であれば、全然問題ないと思います。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>すみません。今度全然中身を変えて。閉校にかかる予算75%出していただけると 前回お話があったんですけど、結局何に使ってとか、これに使っちゃ駄目だよとか、出していただければ助かるんですけど。だいたい150万を天井にして、75%まで出されますと。飲食に使っていいんですかっていう単純な話なんですけど、でも飲食に出したら、たぶん問題になるじゃないですか。これ使っていいよ、これ使っちゃいけないよっていうのを一覽で出していただくようにお願いします。</p>
<p>三浦学校経営企 画課長</p>	<p>はい。ちょっと次回に出させていただいていいですか。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>すぐにできることではないと思うので。はい。</p>
<p>土堂小学校育友 会役員</p>	<p>すみません。何度も。「どちらとも言えない」で、聞きたいんですけど、おっしゃってくれたような感じだと、賛成する、反対する、どちらとも言えないって、ものすごい数どちらとも言えないの数が、圧倒的多数なんじゃないかなと思うんですけど、そうした時ってどのように扱われるんでしょうか。</p>
<p>小柳学校教育部 長</p>	<p>どちらとも言えないというのが、圧倒的に多いという場合にはですね、これは集計、皆様方の意見ですから、考え、思いですから、そのまま集計していく、その数字で見ていくということになると思っております。どちらとも言えないのところで、こういう面を改善していただいたら賛成できるですとかですね、様々な意見をいただいた場合には、それは先程も申しましたように改善に努めていくというふうにさせていただければと思います。</p>
<p>土堂小学校育友</p>	<p>その数字ですけど、今度の議会にお示しされる時には、おそらくどち</p>

会役員	<p>らとも言えないの数がものすごい数でお示しされるのかなと思うんですけど、それまでに改善と言うのはなかなか合意が図られないかなと思うんで、そういう場合は、どちらとも言えないの数が、よく分かりませんが、7割ありましたとかいう形で報告されるという形になるんですかね。</p>
小柳学校教育部長	<p>(うなずく)</p>
土堂小学校育友会役員	<p>はい。分かりました。</p>
教育委員会事務局(司会)	<p>他にございますでしょうか。</p>
土堂小学校育友会役員	<p>すみません。今の話の続きみたいな感じなんですけど。どちらとも言えないが多かった場合に、それでも9月の予算を出すには変わらないんですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>アンケートの結果はどうなるか分かりませんが、先程から申し上げておりますように、これは判断する一つの材料ですから、このアンケートの結果のみをもって、私たちは判断しようとは思っておりません。ですから、これは賛成する、反対する、どこが多くなるか分かりませんが、この結果については真摯に受け止めて、一つの判断する材料とさせていただければと思っております。</p>
土堂小学校育友会役員	<p>では、合意形成が得られたっていうタイミングや、その判断したよっていう、その発表っていうかは、どのようにされるんですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>私たちはですね、判断するっていうのは教育委員会でありまして、教育委員会会議の中で判断していくことになろうかというふうに思っております。合意形成が図られたかどうかっていうのは、これはいろんな考え方がありますが、基本的には民主主義の中ですから、やっぱり過半数ということは意識して判断していかなければならないのではないかというふうに思っております。</p>
土堂小学校育友	<p>その過半数っていうのは、900家庭分のっていう考え方なんですし</p>

<p>会役員</p>	<p>ようか。学校によって、多分かなり意見が違うんじゃないかと思うんですが、そういったところは、どういうふうに判断されるのかと、すみません、もう1回 繰り返しになるんですが、この後をどういうふうに発表されるというか、じゃあもう決めます、進めます、9月に出しますっていうのは、その9月議会までに何かしら保護者の方にアナウンスされるんですか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>まずアンケートの結果ですけれども、これはまあ学校ごとによって、やはり違うということも予想されるかもしれません。そういった場合に、どういうふうに判断をしていくかということについては、まだちょっと分かりませんが、基本的には、やっぱり全体を見ていくということもありますし、学校個別も見ていくのはありますけれども、その中でやはり多くの考え方、全体で見た時に、例えば小学校で見た時に、多くの方が賛成しているということになれば、そういった意見は大事にしていかなければいけないというふうに思っていますから、全体で見るというのはあると思いますし、個別で見るとということも大事だと思いますけれども、今回は6つの小中学校が関係しますので、全体で見ていくということは大切ではないのかなと思っています。かと言って、個別を無視するというわけではありません。それから、どういうふうにこの後発表していくのかっていうのはありますけれども、やはりどういうふうに教育委員会として判断していくのかっていうことについては、この意見交換会が一番私たちも大事に思っている会ですので、私たちがどのように判断するのかということについては、やはり皆様ここにお集まりの代表の方にはお伝えをしなければいけないというふうに思っていますので、これまでもプロセスとして、議員説明会をしたら同じ日にとかですね。議員よりも前にというのなかなか難しいんですけれども、ほぼ同時にですね、お伝えするっていうことは、今後もぶれずに進めていきたいと思っています。</p>
<p>土堂小学校育友 会役員</p>	<p>では、この意見交換会にて発表するという事で、各学校にはもう決まった時には、お手紙だったりとか、お知らせだったりとかっていうのはないというか、この意見交換会だけで発表されてっていうことなんですかね。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。まだその辺までは考えておりませんので、まずは意見交換会というところはあると思いますけれども、やはり、皆様全保護者の方が関心を持たれていると思いますので、どのようにお伝えできるのかとい</p>

土堂小学校育友 会役員	うことは、ちょっと今後そこは検討させていただきたいと思います。 ありがとうございます。
教育委員会事務 局（司会）	他にございますでしょうか。それでは、育友会・P T Aからの全体を通じての意見等がございましたら、受けていきたいと思いますが、こちらの方はございますでしょうか。 （意見なし） それでは、（3）の報告、全体を通しての意見は終わっていきます。次回、第7回意見交換会についてですが、今後7月から8月上旬に行う予定としております保護者説明会、地域説明会の後開催できればと考えております。日時、場所については、後日ご相談させていただきます。それでは、最後に閉会の挨拶を宮本教育長から行います。
宮本教育長	4 閉会 皆様、本当に貴重なご意見をいろいろありがとうございました。いただいた意見を踏まえてですね、また検討させていただいて、より良いものにできたらなというふうに思っております。また今後、各小学校、中学校の保護者説明会で大変お世話になりますけれども、どうぞよろしく願います。本日はありがとうございました。 20：10 終了

- ※ なお、第6回意見交換会の後、令和5年7月18日（火）に教育委員会事務局内にて、再度保護者アンケートの実施の可否を検討した結果、この短い取組期間の中で、保護者の皆さんの意見を吸い上げることが困難なことから、アンケートの実施を行わないこととなりました。
- ※ 保護者アンケートを実施しないことについては、令和5年7月19日（水）に各育友会・P T A会長に報告を行いました。